

【家庭教育支援チーム】

| | |
|--------------|---|
| チーム名 (呼称) | 印南町家庭教育支援チーム (呼称:いなみっ子応援隊) |
| 活動開始年度 | 平成20年度 |
| 活動拠点 | 印南町立いなみっ子交流センター |
| 活動範囲 | 印南町全域 |
| 活動財源 | <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 地域子育て支援拠点事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 () |
| 組織体制 | <u>12</u> 人 元保育士・幼稚園教諭 4人、元小学校教諭 1人、 図書館司書 2人、子育てサポーター 5人、 |
| 具体的な活動内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() |
| | <p>【活動内容】</p> <p>育児教室の開催 乳幼児とその保護者を対象に遊びを通して子供の成長発達を促し、親子のふれ合いを育むとともに、家庭での教育力の向上を目的としている。「感覚あそび」「運動あそび」「知育あそび」等を行い、子供の「からだ」と「こころ」の発達を促している。</p> <p>子育てサークル支援 親子が集まる子育てサークルにおいて、「子育てワンポイントアドバイス」や「絵本の読み聞かせ」を行っている。また、育児の悩みや不安が解消されるよう育児相談を受けている。</p> <p>ブックスタートの実施 乳幼児期から読書に親しむ習慣が養われるよう、6か月児と2歳児を対象に「絵本の読み聞かせ」や「絵本の紹介」をしたり、一人ひとりの子供に絵本をプレゼントしたりしている。</p> <p>いなみっ子交流センター休日開設 活動拠点であるいなみっ子交流センターを土曜、日曜、休日に開設している。子育て親子の交流機会の場として提供するとともに、子育てに関するアドバイス等を行っている。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| | <p>家庭教育支援員会議の開催</p> <p>家庭教育支援員、保健師、関係機関等による調整会議を定期的に行い、活動内容の検討及び情報の共有を図り、子育て・親育ちの充実に取り組んでいる。</p> |
| 活動の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内全域を対象とした育児教室の開催、住まいの地域以外のサークルへの参加の呼びかけにより、地域の枠を越えた親子の交流が図られている。 ・保護者にとってサークル等への参加がホッとできる時間であったり、子育ての悩みを共有する仲間や相談できる支援員がいたりすることで不安が軽減され、子供に笑顔で接することができるという声を聞く。 |
| 活動において苦労した点や課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児での就園が増加傾向にあるため、育児教室等への参加は0～1歳児が多くなっている。年齢に応じたあそびを取り入れることで、無理なく親子で楽しめるよう進めている。 ・地域の情報を取り入れるとともに関係機関との連携を図り、孤立した子育て家庭を生み出さないよう取り組まなければならないと考える。 |
| 今後の活動目標 | <p>現在は未就園児親子が対象の活動が主であるが、就園後及び就学後を含めた保護者への家庭教育講演会等を実施していきたい。</p> |
| 問合せ先 | <p>(部署・氏名等) 印南町教育委員会</p> <p>(TEL) 0738-42-1700 (E-mail) kyoiku@town.wakayama-inami.lg.jp</p> |